

大学コンソーシアム熊本地域創造部会

「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」

熊本市の地域課題の趣旨説明



熊本市
Kumamoto City

政策局総合政策部政策企画課

2026年6月19日

本日の内容

I まちづくりの方向性

II 地域課題

本日の内容

I まちづくりの方向性

II 地域課題

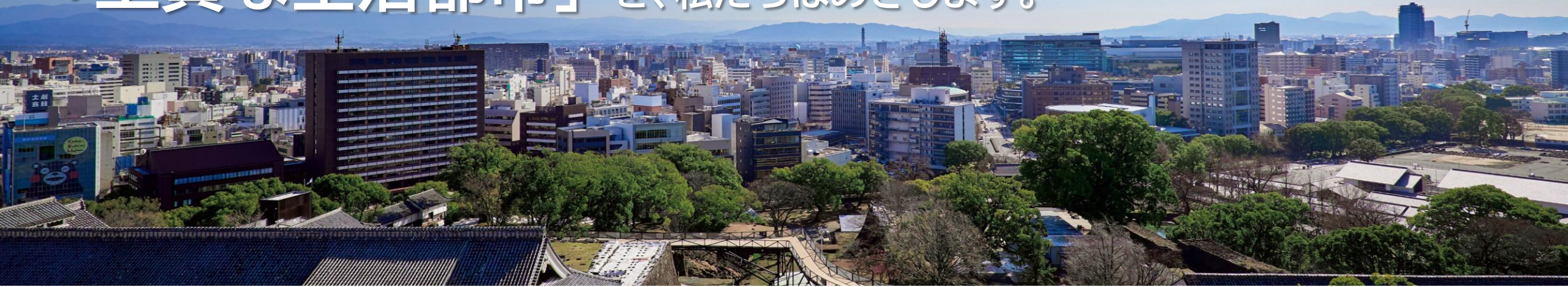
I まちづくりの方向性

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、
お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、
災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、
いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。

市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、

「上質な生活都市」 を、私たちはめざします。



熊本市第8次総合計画の構成



基本構想

本市のめざすまちの姿を明らかにし、これらを実現するための基本的な施策の大綱を示すもの

基本計画

基本構想を実現するために、必要な諸施策を体系的に明らかにしたもの

アクションプラン

当該年度の重点的な取組と基本計画に掲げた施策を年度別に具体化し、どのように実施していくかを明らかにしたもの

熊本市第8次総合計画 令和8年度アクションプラン 重点事項

基本構想

基本計画

アクションプラン

計画の構成

重点事項1

災害への備えと対応力の強化

重点事項2

総合的なこども施策の推進

重点事項3

交通渋滞の解消及び
公共交通施策の加速化

重点事項4

半導体関連企業の熊本進出に伴う
諸課題への対応

本日の内容

I まちづくりの方向性

II 地域課題

災害への備えや
教訓の次世代への継承に
向けた取組について

平成28年熊本地震発生から
10年

災害の激甚化・頻発化

- ✓ 令和7年8月10日から8月11日にかけて、市内において記録的な大雨が発生。
⇒ 市内各地で浸水被害や護岸崩壊等の被害が発生。

- ✓ 近年、激甚化・頻発化する自然災害に対し、平時からの備えや発災後の対応力の強化に向けた取組を推進していく必要がある。
- ✓ 熊本地震の教訓を改めて共有し、次世代へ継承するとともに、南海トラフ地震等への備えに活かすなど、安全・安心で災害に強くしなやかなまちの実現に向けた取組を強化していく必要がある。

南海トラフ地震への備え

- ✓ 国における被害想定の見直し
⇒ 令和7年7月1日付けで、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定。

II 地域課題

1 熊本地震の被害状況

- 平成28年(2016年)4月14日及び16日に発生した熊本地震は、わずか28時間の間に最大震度7が2回、震度6の地震が5回、余震の累計は4,000回超となる観測史上初の大災害だった。
- 避難者数は最大11万人、住家被害は13万件を超え、液状化等による宅地被害が市内の各所で発生。

人的被害 (令和8年(2026年)4月末時点)

死者	90人 (直接死6人 関連死84人)
重傷者	772人 (重度の障がい者6人を含む)

避難所・避難者数

避難所	267箇所(最大)
避難者数	110,750人(最大)

住家被害

※り災証明交付件数
(令和8年(2026年)4月末時点)

全壊	5,764件
大規模半壊	8,972件
半壊	38,964件
一部損壊	82,985件
計	136,685件

宅地被害の状況(推定)

がけ崩れ被害戸数 (造成宅地変状箇所内の箇所を含む)	約4,300戸
液状化被害戸数	約2,900戸
計	約7,200戸

- ◆ 水道:最大約326,000戸断水 ⇒平成28年(2016年)4月30日通水完了
- ◆ 電気:約278,400戸停電 ⇒平成28年(2016年)4月18日午後復旧
- ◆ ガス:約100,900戸供給停止 ⇒平成28年(2016年)4月30日復旧完了

II 地域課題



▲ 頼当御門周辺の石垣の崩壊



▲ 市民病院新館待合ホール天井材落下の状況



▲ 宅地擁壁の被災状況



▲ 一般県道玉名植木線 法面の崩壊



▲ 下水道(管路)の被災状況

発災直後、行政はすぐに機能しない



熊本地震における最大の教訓 地域社会

熊本地震の際に
市民による支え合い
が地域単位で発生

自治会加入率 **83.6%**
(R6.4月時点)

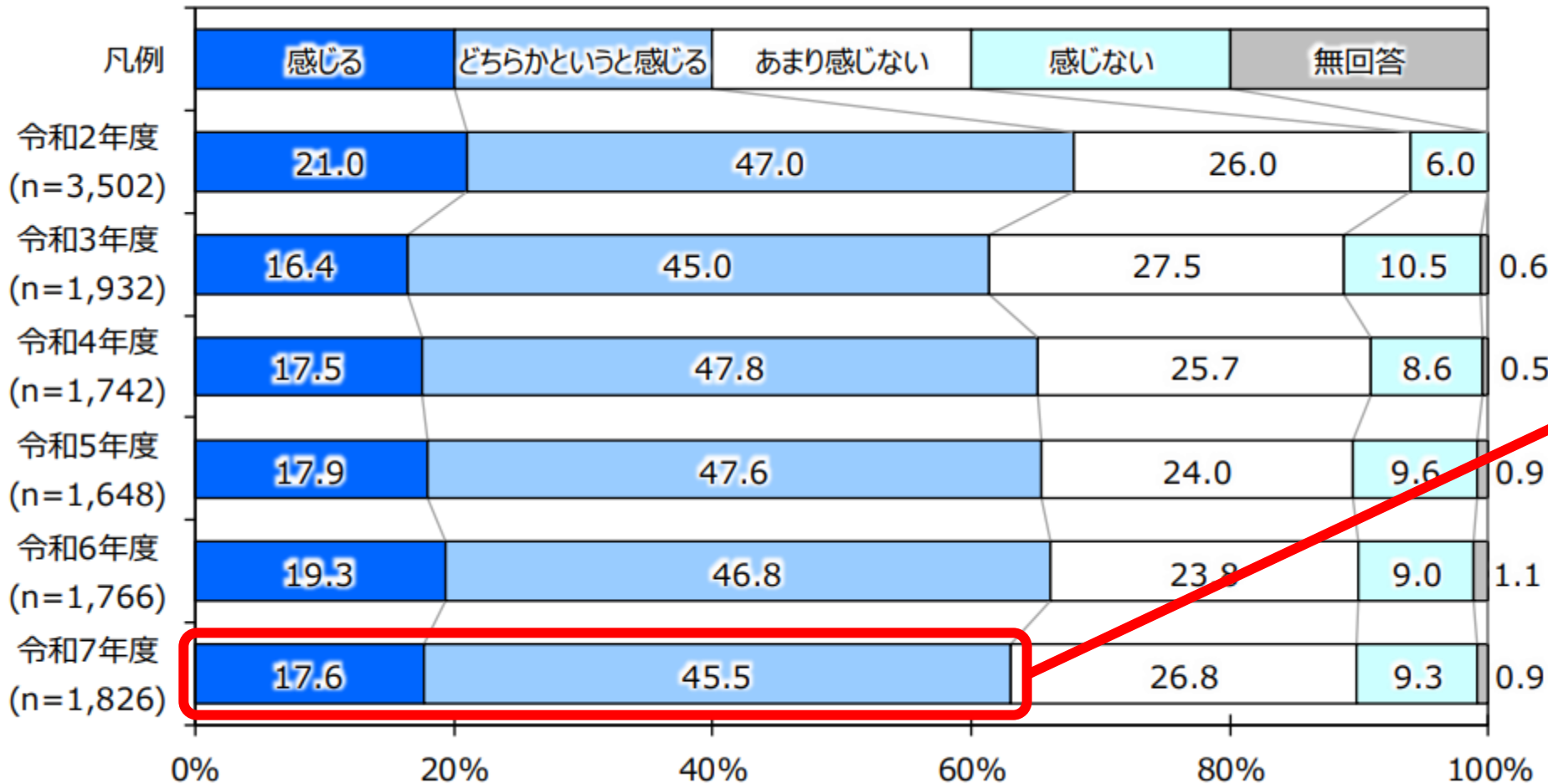
政令指定都市でトップクラス



当時の避難所の様子

II 地域課題

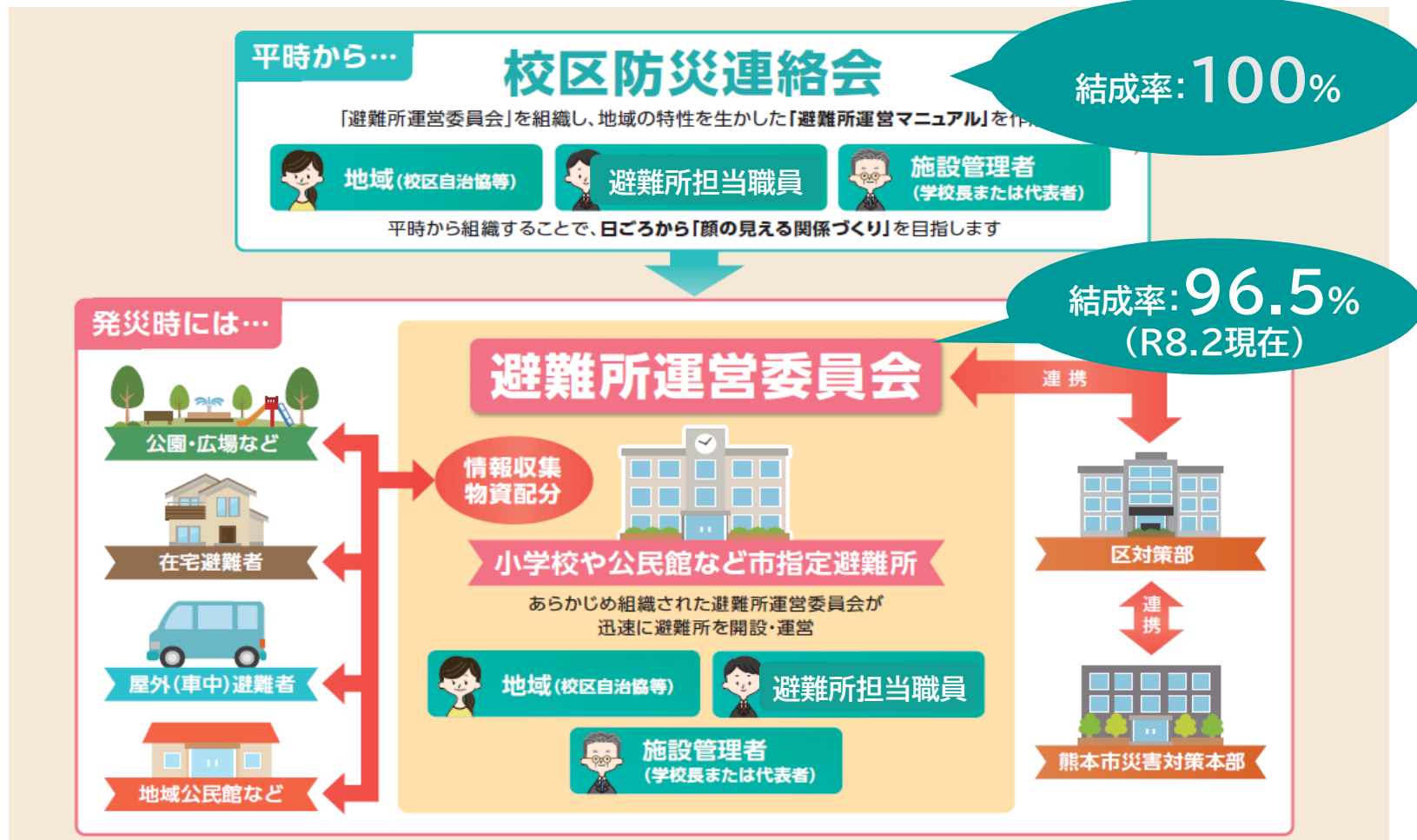
熊本地震の記憶や教訓を忘れがちになっていると感じる割合



63.1%の方が
熊本地震の
記憶や教訓を
忘れがちになって
いると感じている。

II 地域課題

地域住民・施設管理者・避難所担当職員が平時から顔の見える関係をつくり、災害時の避難所開設・運営体制を事前に構築するため、「**校区防災連絡会**・**避難所運営委員会**」の設置を推進。



スマートフォンアプリ「くまもとアプリ」の導入・活用



平時

ボランティアが身近に！
ポイントで楽しみが広がる！

災害時

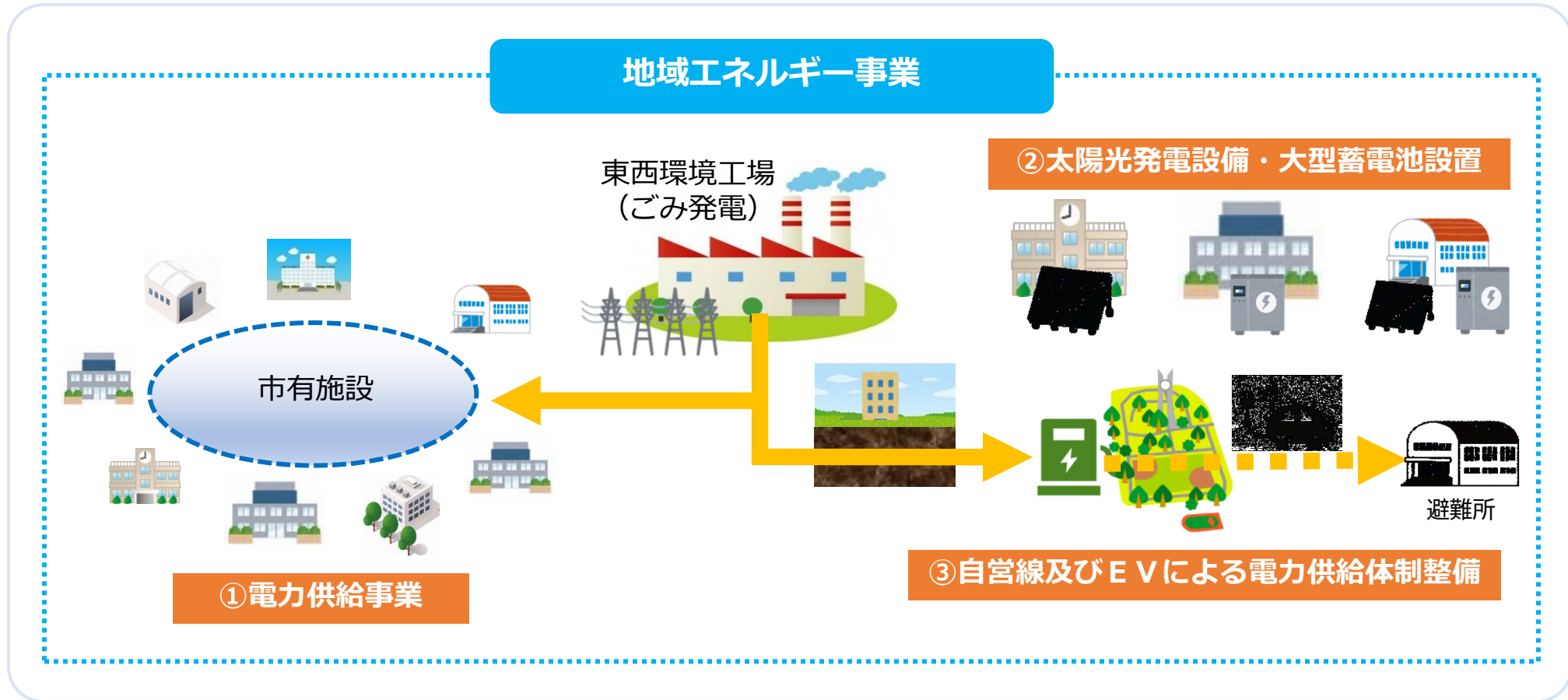
避難所の受付がスムーズに！
避難状況の把握に！



自立・分散型エネルギーシステムの構築

取組の概要

- 災害による大規模な断水や停電を経験し、ライフラインの強靱化の重要性を再認識したことから、ごみ発電電力の公共施設等での活用など災害に強い自立・分散型エネルギーシステムの構築を推進。



マンホールトイレの整備

避難所の衛生環境の一助となったマンホールトイレの整備の拡充



車中泊避難への支援

車中泊避難者支援ガイドラインを策定
実証実験の実施



TKB48避難所訓練

災害発生から48時間以内に(T)清潔なトイレ、(K)温かい食事を提供するキッチン、(B)安心して休めるベッドを確保する訓練を実施

九州市長会や近隣市町村、民間企業等との連携し、「県境を越えた持ち寄り型のTKB48避難所訓練」は、全国初の取組。



福岡市トイレトレーラー



島原市トイレカー



熊本市災害対応車両キッチンカー



温かい食事(熊本名物)を提供

九州市長会における連携

「ONE KYUSHU プロジェクトチーム」の立ち上げ

- 九州の共通課題解決に向け、各市が連携して調査研究や施策を立案・推進する「ONE KYUSHU プロジェクトチーム」を設置(プロジェクトチームへは全119市のすべてが参加)
- 九州のブランド力向上、持続可能な行政運営・まちづくり、南海トラフ地震等の広域災害対応など、九州一体となった取組を推進



▲第1回プロジェクトチーム会議(キックオフ会議)の状況

【参考】南海トラフ・大規模災害対策部会の取組

- 九州市長会における 受援・支援自治体の事前指定(=マッチング)
- 各自治体での受援・支援対応の標準化、アップデート
- 備蓄品・資機材等の相互支援の仕組みづくり
- 事前指定に基づく初動対応体制の準備防災訓練等の実施

➤ 熊本市第8次総合計画



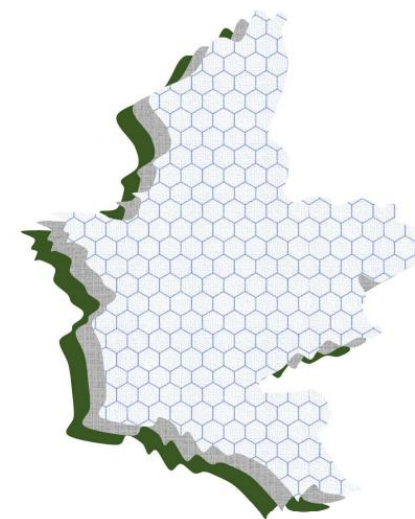
- 熊本市人口ビジョン
- データで考える熊本市の都市政策2025

熊本市人口ビジョン

【改訂版】
令和6年（2024年）3月
熊本市

熊本市人口ビジョンとは	1
1. 現状分析	2
2. 意識調査	23
3. 将来推計	29
4. 考察と将来展望	35
用語集	37

データで考える
熊本市の都市政策
2025



参考となる資料



The screenshot shows the top navigation bar of the Kumamoto City Disaster Prevention Site. On the left is the site logo, a green circle with a white 'C', followed by the text '熊本市防災サイト' and 'Kumamoto City Disaster Prevention Site'. To the right is a search box containing 'キーワード、ID' and a magnifying glass icon. Below the search box is a button labeled '熊本市TOP'. Further right are two buttons: 'Language' with a globe icon and '閲覧支援' with a person icon. Below these buttons are two navigation links: '防災情報' and '日頃の備え', each with a red triangle icon.

<https://www.city.kumamoto.jp/bousai/default.html>



The screenshot shows the header and breadcrumb trail of the Kumamoto City website. The header includes the '熊本市 Kumamoto City' logo on the left and navigation icons for '閲覧支援' (person icon), 'Language' (globe icon), 'さがす' (magnifying glass icon), and '緊急情報' (warning triangle icon). Below the header is a breadcrumb trail: 'ホーム > 分類から探す > 防災・救急 > 熊本地震関係 > 記録 > 「平成28年熊本地震 熊本市震災記録誌 ～復旧・復興に向けて～ 発災からの1年間の記録」'. To the right of the breadcrumb trail is a link 'もっと見る (全2件)'. Below the breadcrumb trail is a large blue banner with white text: 「平成28年熊本地震 熊本市震災記録誌 ～復旧・復興に向けて～ 発災からの1年間の記録」.

<https://www.city.kumamoto.jp/kiji00318725/index.html>

平成28年熊本地震 10年関連事業

平成28年熊本地震から10年の節目を迎えるにあたり、様々な人の「想い」や「記憶」をつなぎ、熊本地震の「教訓」、多くの支援への「感謝」を胸に、地域の「つながり」、「絆」を力として、安全・安心で災害に強くしなやかなまちを目指し、「未来」に向けてこれからも進み続ける「決意」を新たにするため、以下の全体コンセプトと4つの基本方針に基づき、関連事業を展開します。

全体コンセプト:「支えられた日々を、支え合う力に。」

犠牲になられた方々への追悼と想いの継承

- 犠牲となられた方々に哀悼の意を表すことに加え、災害の記憶の風化を防ぎ、熊本県全体で防災への思いを新たにすため、県と県内市町村との共催により、合同追悼式を開催します。



復旧・復興の歩みの振り返り

- 熊本市現代美術館や動植物園、熊本競輪場において、熊本地震の当時や復旧・復興の歩みを振り返る企画・イベント等を開催します。



未来への教訓等の伝承

- 九州市長会防災部会等と連携した訓練やTKB48※避難所訓練などを実施します。
- 各区において、防災イベント等を実施し、地域防災力の向上を図ります。



※災害時の避難所において、「T=トイレ、K=キッチン、B=ベッド」の3要素を発災から48時間以内に整備することを目指す避難所運営の指針

支援への感謝と恩返し

- 復興コンサートの開催や熊本城及びその周辺地域による年間を通じたイベントを開催し、様々なご支援への感謝を伝えるとともに、防災意識の醸成を図ります。



※写真はイメージ

ご清聴ありがとうございました

